

切磋琢磨

令和元年6月28日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

仲間との繋がりを日常生活の質の向上へ

校長 伊藤勝彦

2年生の若狭研修に続き、6/1~2には1年生旭高原研修、6/5~7には3年生東京研修が行われました。両学年ともたいへん充実した研修となりました。1年生の旭高原研修では、集団行動の質が高まった場面が数多く見られました。班や学級で集合するような場面では、リーダーの声にすばやく反応し駆け足で集合したり、時に、リーダーの声がなくても自分で判断して行動したりすることができていました。2日目の学年活動の大縄跳びでは、それまでの最高回数を記録することができました。これも全員が大きな声を出し、気持ちが高揚したことによるものだと思います。これまでに見ることのできなかつた仲間のよさを発見するなど、多くの成果がありました。一方、3年生の東京研修もたいへん実りのあるものとなりました。学級委員や班長などのリーダーがそれぞれの活動場面で声を出したり、自ら動いたりして見事なリーダーシップを発揮しました。その日の反省を生かし、1日目より2日目、2日目より3日目と、リーダーシップに磨きがかかり、学年全体の動きもよりよいものになっていきました。事前の取組が研修に活かされたと共に研修そのものからも多くの学びがありました。すでに研修を終えた2年生に続き、1年生、3年生ともたいへん多くの成果を得た宿泊研修でした。

5/7から始まった第2ステージでは、宿泊研修を核にしながらか仲間との繋がりを強くしたり、行事と日常とを繋いだりすることを目標として取り組んできました。6/17からは第3ステージが始まっています。第3ステージ『質』は今年度新たに取入れられたステージです。第2ステージ『繋』での成果を生かして日常生活の質を高めることをねらいとして行われているステージです。リーダーとフォロワーとの呼応の関係をはじめとした組織的な動きを日常での生活に生かしていこうとするものです。現在はどの学級も安定した日常生活が送られています。様々な日常生活の中で、とくに授業に力を入れて取り組んでいます。先日行われた授業参観でも、生徒の前向きな姿をご覧いただけだと思います。その前日6/21には、東濃東部(恵那市・中津川市)の中学校と高等学校の校長先生方30名ほどが本校を訪問され、生徒の授業の姿を見ていただきました。校長先生方からは、次のような多くの賞賛や励ましの声をいただきました。

- 集中して授業に取り組む生徒のみなさんの姿から、東中の3本柱「挨拶・合唱・無言清掃」に加え、4つ目の柱をつくらうとする意気込みが伝わってきました。ぜひ、今年度で4本目の柱「授業」をつくりあげてください。期待しています。
- 学習委員長さんの心意気がすばらしい。これぞ中学校のリーダーだ!と思いました。自分の考えづくりをした後にペア交流をする姿が多くありました。1回ずつ意見を言い合った後にさらに続けて意見のやりとりをする姿もありました。この姿がすばらしい。聞いては考え、考えては話す。これが大切です。これを全校の生徒の姿にしていってください。生徒会役員さんの説明もたいへんすばらしかった。自分たちの学校に対する熱い願いが伝わってきました。いい学校になっていくことまちがいありません。
- 授業に集中しているという雰囲気がどのクラスでも感じられました。積極的に挙手をして発表する姿がすばらしく感じられました。委員長さんの説明に感動しました。その思いが全校に伝わり、実践されていました。
- 生徒会の役員や学習委員長が取組の説明してくれました。堂々と話ができているすごかったです。3年生の合唱は男声のどっしりした歌声と女子の美しい歌声が印象に残りました。今後がんばってください。



33,34組男子体育全校研の授業の様子

日常生活の質を高めようと各学級・学年で現在取組を進めています。授業をはじめとした日常生活を高めたいこうとする姿は、恵那東中の黄金期にふさわしいものだと思います。